

留学先大学：ワシントン大学

留学先での所属学部・研究科：Arts and Sciences

留学先での在籍身分：交換留学生

留学期間：2012年9月～2013年6月

神戸大学での所属学部・研究科：文学部人文学科社会学専修

学年（出発時）：3

本報告書記入日：2013年7月18日

授業について

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	Globalization	Matt Sparke	5	5	200	長い期末レポートが課されます
2	Intro to Communication	Domke	5	5	200	テスト中心で、授業内容を中心に出题されます
3	Communication	Pitchford	5	5	100	Short essayとテストがあります
4	Criminology	Matsueda	5	5	100	テスト中心です
5	Social Stratification	Jake	5	5	50	レポートとテスト両方課されます
6	Sociological Theory	Kiser Edger	5	5	100	長い期末レポートとテストがあります
7	Chinese Art	Haicheng Wang	5	5	50	テスト中心です
8	FLDWK	Patrick M. Chidsey	3	3	50	ショートレポートがいくつも課されます
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

クラスのサイズと成績評価はまちまちですが、大体の授業が教授の講義とTAによるグループディスカッションの2段階構成で週3回ほどあります。社会学系の授業はreading課題がとても多いので、効率よくこなさないと授業に間に合わなくなります。

費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

・航空運賃：22万円

・住居費：（月額）7万円 ×（留学月数）10ヶ月 = 70万円

・食費：（月額）3万円 ×（留学月数）10ヶ月 = 30万円

・保険料：11万円

・その他：10万円

合計：143万円（留学期間全体の費用）

その他 自由に記入してください。（800字～）

ワシントン大学で過ごした約10ヶ月間は私にとって挫折と挑戦そして出会いの連続でした。語学面では、最初は授業で教授が言っていることが聞き取れなかったり、日常生活で何度も聞き返したりしていたのが、留学を終える頃には、友人と色々な話をしたり、授業のディスカッションで発言したりできるようになりました。リスニングが特に伸びたように思います。学業面では、専門科目である社会学を中心に知識を深めると共に、興味があったglobalizationやartについて学ぶことが出来ました。特に人種間の経済・教育格差問題など、アメリカの社会学が力を入れて取り組んでいるトピックについて学ぶことが出来、非常に有意義でした。いくつかの授業は懸命に努力しましたが、成績がふるわず、自分自身の力のなさを痛感しました。しかし全ての授業を楽しんで受けることが出来、現地の教授陣と学生の熱意あふれる姿勢に非常に刺激を受けました。生活面では最初の2週間世話をしてくださったホストファミリーと寮での5人のアメリカ人と中国人のフラットメイトをはじめとして友人との出会いに恵まれ、学業面以外でも旅行やキャンプに行く等、アメリカの文化を肌で感じる事が出来ました。アメリカだけでなく各国から来た留学生と交流し、文化の違いを知らながら、楽しい時間を過ごしました。

また最後の学期には自分からインターンシップに応募し、現地の出版社と兵庫県のワシントン事務所の2カ所でインターンとして働きました。学業との両立は大変でしたが、学生だけでなく、現地で働く社会人の方達と交流することができたのは、自身の将来を考える上で貴重な経験となりました。また、日本人留学生と現地の日本に興味のある学生とでソーラン節のチームを結成し、ワシントン大学とシアトル大学でパフォーマンスを行いました。語学や学業で挫折し、時に悔しい思いもしましたが、積極的に挑戦することで素晴らしい出会いに恵まれ、充実した留學生活となりました。